

# IV. レバレッジ比率に関する開示事項

## 1. 連結レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円)

項番 (国際様式 (LR1) の該当番号)	項目	2024年度 中間期末	2023年度 中間期末
1	連結貸借対照表における総資産の額	10,646,941	10,552,363
2	連結レバレッジ比率の範囲に含まれない子法人等の資産の額 (△)	—	—
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	—
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	1,499,575	1,710,200
5	顧客資産のうち、連結貸借対照表に計上されている金額 (△)	—	—
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	—
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	—
8	デリバティブ取引等に関する調整額	18,930	21,857
8a	デリバティブ取引等に関する額	46,063	29,971
8b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	27,133	8,114
9	レポ取引等に関する調整額	9,408	6,466
9a	レポ取引等に関する額	9,408	6,466
9b	レポ取引等に関する額 (△)	—	—
10	オフ・バランス取引に関する額	102,238	90,428
11	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	13,659	15,448
12	その他の調整項目	△ 55,042	△ 55,815
12a	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	34,477	18,003
12b	支払承諾見返勘定の額 (△)	8,773	8,255
12c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
12d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	11,791	29,557
12e	連結レバレッジ比率の範囲に含まれる子会社の資産の額 (連結貸借対照表における総資産の額に含まれる額を除く。)	—	—
13	総エクスポージャーの額	9,209,240	8,889,650

(単位：百万円)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項目	2024年度 中間期末	2023年度 中間期末
<b>オン・バランス資産の額 (1)</b>			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	9,111,459	8,825,792
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	11,791	29,557
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	—
5	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	13,659	15,448
6	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	34,477	18,003
7	オン・バランス資産の額 (イ)	9,051,530	8,762,783
<b>デリバティブ取引等に関する額 (2)</b>			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	20,400	8,651
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	25,662	21,320
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	—
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	46,063	29,971
<b>レポ取引等に関する額 (3)</b>			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	9,408	6,466
17	代理取引のエクスポージャーの額	—	—
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	9,408	6,466
<b>オフ・バランス取引に関する額 (4)</b>			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	479,122	454,503
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	376,884	364,074
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	102,238	90,428
<b>連結レバレッジ比率 (5)</b>			
23	資本の額 (ホ)	535,805	482,823
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	9,209,240	8,889,650
25	連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.81%	5.43%
26	適用する所要連結レバレッジ比率	3.15%	3.00%
27	適用する所要連結レバレッジ・バッファ比率	—	—
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 (6)</b>			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	9,209,240	8,889,650
	日本銀行に対する預け金の額	1,499,575	1,710,200
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	10,708,816	10,599,851
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の連結レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	5.00%	4.55%
<b>平均値の開示 (7)</b>			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、(ル) 日本銀行に対する預け金を算入しない場合)	9,209,240	8,889,650
30a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、(ヲ) 日本銀行に対する預け金を算入する場合)	10,708,816	10,599,851
31	連結レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	5.81%	5.43%
31a	連結レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	5.00%	4.55%

## 2. 前中間連結会計年度の連結レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因 (当該差異がある場合に限る。)

該当ありません。

### 3. 単体レバレッジ比率の構成に関する事項

(単位：百万円)

項番 (国際様式 (LR1) の該当番号)	項 目	2024年度 中間期末	2023年度 中間期末
1	貸借対照表における総資産の額	10,597,275	10,518,885
3	リスク移転の認識に係る要件を充足しない証券化エクスポージャーに係る調整	—	—
4	中央銀行預け金に係る除外による調整 (△)	1,499,575	1,710,200
5	顧客資産のうち、貸借対照表に計上されている金額 (△)	—	—
6	有価証券の売買を約定日基準により会計処理している場合における調整項目	—	—
7	キャッシュ・プーリング契約に基づく資金の移動に係る調整項目	—	—
8	デリバティブ取引等に関する調整額	18,931	21,860
8 a	デリバティブ取引等に関する額	46,065	29,975
8 b	デリバティブ取引等に関連する資産の額 (△)	27,133	8,114
9	レポ取引等に関する調整額	9,408	6,466
9 a	レポ取引等に関する額	9,408	6,466
9 b	レポ取引等に関する額 (△)	—	—
10	オフ・バランス取引に関する額	102,217	90,397
11	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	15,149	16,732
12	その他の調整項目	△ 34,042	△ 48,994
12 a	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	13,477	11,182
12 b	支払承諾見返勘定の額 (△)	8,773	8,255
12 c	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
12 d	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	11,791	29,557
13	総エクスポージャーの額	9,179,064	8,861,681

(単位：百万円)

項番 (国際様式 (LR2) の該当番号)	項目	2024年度 中間期末	2023年度 中間期末
<b>オン・バランス資産の額 (1)</b>			
1	個別項目調整前のオン・バランス資産の額	9,061,793	8,792,314
2	デリバティブ取引等に関連して差し入れた担保の対価の額 (相殺した額に相当する部分に限る。)	—	—
3	デリバティブ取引等に関連して現金で差し入れた変動証拠金の対価の額 (△)	11,791	29,557
4	レポ取引等により受領した証券の計上額 (△)	—	—
5	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金) (△)	15,149	16,732
6	Tier 1 資本に係る調整項目の額 (貸倒引当金以外) (△)	13,477	11,182
7	オン・バランス資産の額 (イ)	9,021,374	8,734,842
<b>デリバティブ取引等に関する額 (2)</b>			
8	デリバティブ取引等に関するRCの額に1.4を乗じた額	20,401	8,651
9	デリバティブ取引等に関するPFEの額に1.4を乗じた額	25,663	21,323
10	間接清算参加者に適格中央清算機関の債務履行を保証していない場合に零とした中央清算機関向けエクスポージャーの額 (△)	—	—
11	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額	—	—
12	クレジット・デリバティブ等のプロテクションを提供した場合における調整後想定元本の額から控除した額 (△)	—	—
13	デリバティブ取引等に関する額 (ロ)	46,065	29,975
<b>レポ取引等に関する額 (3)</b>			
14	レポ取引等に関する資産の額	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額 (△)	—	—
16	レポ取引等に関するカウンターパーティ・リスクのエクスポージャーの額	9,408	6,466
17	代理取引のエクスポージャーの額	—	—
18	レポ取引等に関する額 (ハ)	9,408	6,466
<b>オフ・バランス取引に関する額 (4)</b>			
19	オフ・バランス取引の想定元本の額	479,070	454,425
20	オフ・バランス取引に係るエクスポージャーの額への変換調整の額 (△)	376,852	364,027
22	オフ・バランス取引に関する額 (ニ)	102,217	90,397
<b>単体レバレッジ比率 (5)</b>			
23	資本の額 (ホ)	493,296	444,641
24	総エクスポージャーの額 ((イ) + (ロ) + (ハ) + (ニ)) (ヘ)	9,179,064	8,861,681
25	単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ))	5.37%	5.01%
26	適用する所要単体レバレッジ比率	3.15%	3.00%
27	適用する所要単体レバレッジ・バッファ率	—	—
<b>日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 (6)</b>			
	総エクスポージャーの額 (ヘ)	9,179,064	8,861,681
	日本銀行に対する預け金の額	1,499,575	1,710,200
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の総エクスポージャーの額 (ヘ')	10,678,639	10,571,882
	日本銀行に対する預け金を算入する場合の単体レバレッジ比率 ((ホ) / (ヘ'))	4.61%	4.20%
<b>平均値の開示 (7)</b>			
28	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値 ((ト) + (チ))	—	—
	レポ取引等に関する資産の額に係る平均値 (ト)	—	—
	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る平均値 (△) (チ)	—	—
29	レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る四半期末の値 ((リ) + (ヌ))	—	—
14	レポ取引等に関する資産の額に係る四半期末の値 (リ)	—	—
15	レポ取引等に関する資産の額から控除した額に係る四半期末の値 (△) (ヌ)	—	—
30	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) (ル)	9,179,064	8,861,681
30a	総エクスポージャーの額 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) (ヲ)	10,678,639	10,571,882
31	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入しない場合) ((ホ) / (ル))	5.37%	5.01%
31a	単体レバレッジ比率 (レポ取引等に関する資産の額 (控除後) に係る平均値を使用し、日本銀行に対する預け金を算入する場合) ((ホ) / (ヲ))	4.61%	4.20%

#### 4. 前中間事業年度の単体レバレッジ比率との間に著しい差異を生じた原因

該当ありません。